

第 35 回 日 本 血 液 事 業 学 会 総 会

[報 告]

平成22年度 事業報告

平成22年度 収支決算

平成24年度 事業計画

平成24年度 収支予算

第36回日本血液事業学会総会長の選出

第37回日本血液事業学会総会開催候補地

編集委員の選出

開 催 日：役員会・評議員会・編集委員会

平成23年10月19日(水)

会 場：埼玉県東松山赤十字血液センター

平成22年度日本血液事業学会事業報告

◎会員数 2011年(平成23年)3月31日現在

A 会員	6,179名
B 会員	1名
C 会員	60名
合 計	6,240名

◎第34回日本血液事業学会総会

第34回日本血液事業学会総会(総会長：清川博之先生 福岡県赤十字血液センター所長)は2010年(平成22年)9月21日(火)～23日(木)の3日間、福岡国際会議場において、「未来への創造—信頼と連携の絆—」をテーマに掲げて開催し、889名(スタッフ等除く)が参加した。

学会総会は、第17回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム、平成22年度全国大学病院輸血部会議と同時期開催とし、血液を供給する血液センター側と、それを使用する病院側が一同に会し行われた。

特別講演は3題、特別講演1「血液の安全対策/歴史と展望」演者：日本赤十字社中央血液研究所名誉所長 十字猛夫氏、特別講演2「血液事業“JUMP UP” (更なる飛躍を)」演者：日本赤十字社血液事業本部 西本 至氏、特別講演3「輸血医療のパートナーシップ—信頼と連携の絆—」演者：福島県立医科大学医学部輸血・移植免疫学 大戸 斉氏が行われた。

教育講演は9題、教員講演1「HIV感染—最近の動向と対策—」演者：慶応義塾大学医学部微生物・免疫学教室 加藤真吾氏、教育講演2「血液製剤に求められる品質保証について」演者：日本赤十字社 吉野 節氏、教育講演3「VVR発生のメカニズムとその予側」演者：済生会二日市病院 安藤真一氏、教育講演4「臓器・細胞移植と輸血の現状」演者：九州大学病院遺伝子・細胞療法部 豊嶋崇徳氏、教育講演5「病原体低減化について」演者：東京都西赤十字血液センター 佐竹正博氏、教育講演6「赤十字と国際保健医療協力」演者：日本赤十字九州国際看護大学 喜多悦子氏、教育講演7「血液安全対策/世界の動向」演者：日本赤十字社血液事業本部 田所憲治氏、教育講演8「急展開するB型肝炎ウイルスの臨床」演者：国立国際医療センター国府台病院 肝炎・免疫研究センター 溝上雅史氏、教育講演9「輸血医療に必要な凝固学」演者：愛知県赤十字血液センター 高松純樹氏が行われた。

特別報告として「VVRの統計解析」演者：東京都赤十字血液センター 高梨美乃子氏が行われた。

総会長シンポジウムは「血液事業運営体制の将来構想—未来への創造—」として、1「広域需給管理体制に向けて」、2「新体制下における財政制度について—財政一元化—」、3「広域事業運営への体制整備」、4「新体制下での地域血液センターのあり方について」、5「新体制下の製造体制と広域需給管理について」の5題が行われた。

シンポジウムでは、シンポジウム1「輸血感染症—最近の知見」、シンポジウム2「広域需給管理における供給部門の取り組み—輸血医療に貢献するロジスティックス向上のために—」、シンポジウム3「献血者の健康管理について」、シンポジウム4「よりよい献血環境をめざして—『おもてなし』をもって—」の4題が行われた。

ワークショップでは、ワークショップ1「広域運営体制に向けての品質保証」、ワークショップ2「採血の諸問題」、ワークショップ3「採血基準変更と献血推進のあり方について」、ワークショップ4「血液事業における安全管理体制—インシデントレポートシステムの有効活用—」、

ワークショップ 5「輸血副作用対策と製剤の効率化」、ワークショップ 6「検査の向上を目指して」、の 6 題が行われた。

一般演題は173題(口演102題、ポスター 71題)が発表された。

また、第34回日本血液事業学会総会/平成22年度全国大学輸血部会議/第17回日本輸血・細胞治療秋季シンポジウムの合同によるシンポジウムが開催され、合同シンポジウム 1「細胞プロセシングの基盤整備」、合同シンポジウム 2「輸血療法のリスクマネジメント」、合同シンポジウム 3「血液センターとの協力体制」の 3 題が行われた。

最終日には、輸血懇話会・市民公開講座が開催され、「命の絆 ―献血、骨髄・さい帯血バンクから輸血・細胞治療まで―」と題して《一部:献血、骨髄・さい帯血バンク》、《二部:輸血・細胞治療》が行われた。

◎学会機関誌『血液事業』の発行

第33巻第 1 号	2010年 5 月発行	6,680部
第33巻第 2 号	2010年 8 月発行	6,820部
第33巻第 3 号	2010年11月発行	6,670部
第33巻第 4 号	2011年 2 月発行	6,670部
合 計		26,840部

平成22年度日本血液事業学会収支決算書

(単位：円)

収 入		支 出	
1. 会費収入	27,919,000	1. 総会費	26,712,830
		2. 役員会費	13,500
2. 補助金	150,000	3. 評議員会費	0
		4. 編集委員会費	0
3. 購読料収入	509,000	5. 印刷製本費	13,324,814
		6. 職員費	2,447,280
4. 利子収入	4,190	7. 旅 費	391,660
		8. 通信運搬費	1,229,401
5. 雑収入	18,610,940	9. 消耗品費	9,850
		10. 印刷費	0
6. 前年度繰越金	3,762,515	11. 雑 費	30,644
		12. 租税公課	2,008,300
計	50,955,645	計	46,168,279

収支差引額 4,787,366円
(翌年度へ繰越)

前記決算のとおり相違ありません。

平成23年 3 月31日

日本血液事業学会

会長 池 田 久 實

前記決算は正確であることを認めます。

平成23年 7 月22日

日本血液事業学会

会計監事 稲 葉 頌 一

会計監事 南 陸 彦

平成24年度日本血液事業学会事業計画

1. 第36回日本血液事業学会総会

第36回日本血液事業学会総会(総会長：伊藤 孝先生 宮城県赤十字血液センター所長)は2012年(平成24年)10月17日(水)～19日(金)に仙台国際センター(仙台市)を会場として開催する。

2. 機関誌「血液事業」の発行

第35巻第1号	2012年5月発行	6,700部
第35巻第2号	2012年8月発行	6,800部
第35巻第3号	2012年11月発行	6,700部
第35巻第4号	2013年2月発行	6,700部
合 計		26,900部

平成24年度日本血液事業学会収支予算書

(単位：円)

収 入		支 出	
1. 会費収入	25,975,000	1. 総会費	26,000,000
		2. 役員会費	20,000
2. 補助金	15,000,000	3. 評議員会費	20,000
		4. 編集委員会費	20,000
3. 購読料収入	500,000	5. 印刷製本費	14,130,000
		6. 職員費	2,500,000
4. 利子収入	10,000	7. 旅 費	250,000
		8. 通信運搬費	1,200,000
5. 雑収入	5,000,000	9. 消耗品費	20,000
		10. 印刷費	0
		11. 雑 費	25,000
		12. 租税公課	2,000,000
		13. 予備費	300,000
計	46,485,000	計	46,485,000

第36回(平成24年度)日本血液事業学会総会長選出

伊 藤 孝 先生
(宮城県赤十字血液センター所長)

(規約第11条第3号)

総会の開催に当っては会長が評議員会にはかつて総会長を委嘱する。

第37回(平成25年度)日本血液事業学会総会開催候補地

(予定)北海道管内

編集委員の選出

【新委員(追加)】

塩原信太郎先生(石川県赤十字血液センター 所長)

池田 和真先生(岡山県赤十字血液センター 所長)

以上2名委嘱する

(編集委員会運営要綱第4条第2号)

編集委員は、日本血液事業学会役員及び評議員の推薦により会長が委嘱する。

以 上

日本血液事業学会総会開催状況

回	開催年月	開催場所	総会長	総会事務局
1	1977 (S.52) . 7	宮城県 (仙台市)	所長 千葉修次郎	宮城県赤十字血液センター
2	1978 (S.53) . 6	東京都 (渋谷区)	所長 大林 静男	日本赤十字社中央血液センター
3	1979 (S.54) . 7	神奈川県 (横浜市)	所長 岩田 昌一	神奈川県赤十字血液センター
4	1980 (S.55) . 7	兵庫県 (神戸市)	所長 今井 英世	兵庫県赤十字血液センター
5	1981 (S.56) . 7	岡山県 (岡山市)	所長 西崎太計志	岡山県赤十字血液センター
6	1982 (S.57) . 7	静岡県 (静岡市)	所長 野口 正輝	静岡県赤十字血液センター
7	1983 (S.58) . 9	福岡県 (福岡市)	所長 吉成 章之	福岡県赤十字血液センター
8	1984 (S.59) . 9	大阪府 (大阪市)	所長 田中 正好	大阪府赤十字血液センター
9	1985 (S.60) . 9	京都府 (京都市)	所長 細井 武光	京都府赤十字血液センター
10	1986 (S.61) . 9	宮城県 (仙台市)	所長 赤石 英	宮城県赤十字血液センター
11	1987 (S.62) . 9	愛知県 (名古屋市)	所長 福田 常男	愛知県赤十字血液センター
12	1988 (S.63) . 9	広島県 (広島市)	所長 宗像 寿子	広島県赤十字血液センター
13	1989 (H. 1) .10	熊本県 (熊本市)	代行 前田 義章	熊本県赤十字血液センター
14	1990 (H. 2) . 9	福島県 (福島市)	所長 渡辺 岩雄	福島県赤十字血液センター
15	1991 (H. 3) . 9	奈良県 (奈良市)	所長 市場 邦通	奈良県赤十字血液センター
16	1992 (H. 4) . 9	東京都 (北区)	所長 天木 一太	東京都赤十字血液センター
17	1993 (H. 5) . 9	北海道 (札幌市)	所長 関口 定美	北海道赤十字血液センター
18	1994 (H. 6) . 9	石川県 (金沢市)	所長 大川 力	石川県赤十字血液センター
19	1995 (H. 7) . 9	大阪府 (大阪市)	北大阪所長 小川 昌昭	大阪府赤十字血液センター
20	1996 (H. 8) . 3	千葉県 (千葉市)	所長 十字 猛夫	日本赤十字社中央血液センター
21	1997 (H. 9) . 9	宮崎県 (宮崎市)	所長 新宮 世三	宮崎県赤十字血液センター
22	1998 (H.10) . 9	北海道 (旭川市)	釧路所長 中澤 英輔	北海道赤十字血液センター
23	1999 (H.11) . 9	新潟県 (新潟市)	所長 小島 健一	新潟県赤十字血液センター
24	2000 (H.12) . 9	岡山県 (倉敷市)	所長 喜多嶋康一	岡山県赤十字血液センター
25	2001 (H.13) . 9	愛知県 (名古屋市)	所長 小澤 和郎	愛知県赤十字血液センター
26	2002 (H.14) . 9	福岡県 (福岡市)	所長 前田 義章	福岡県赤十字血液センター
27	2003 (H.15) . 9	京都府 (京都市)	所長 横山 繁樹	京都府赤十字血液センター
28	2004 (H.16) . 9	神奈川県 (横浜市)	所長 諏訪 城三	神奈川県赤十字血液センター
29	2005 (H.17) .10	宮城県 (仙台市)	所長 舩山 完一	宮城県赤十字血液センター
30	2006 (H.18) .10	北海道 (札幌市)	所長 池田 久實	北海道赤十字血液センター
31	2007 (H.19) .10	香川県 (高松市)	所長 内田 立身	香川県赤十字血液センター
32	2008 (H.20) .10	大阪府 (大阪市)	所長 柴田 弘俊	大阪府赤十字血液センター
33	2009 (H.21) .11	愛知県 (名古屋市)	名誉所長 神谷 忠	愛知県赤十字血液センター
34	2010 (H.22) . 9	福岡県 (福岡市)	所長 清川 博之	福岡県赤十字血液センター
35	2011 (H.23) .10	埼玉県 (さいたま市)	所長 南 陸彦	埼玉県赤十字血液センター
36	2012 (H.24) .10	宮城県 (仙台市)	所長 伊藤 孝	宮城県赤十字血液センター